

## 社会連携委員会活動報告

委員長 池田 耕一（日本大学理工学部）

残念ながら、本委員会は、率直に言ってそれほど活発に活動しているとは言えない状況である。それでも、今年度は、台湾病態建築診断協会から、国際提携の要請があり、それへの対応を行っている。この協会は、すでに本学会と提携関係にある台湾の室内環境学会とは別の組織である（実質的には似たようなメンバーで構成されている）。以下の同協会提供の日本語版の案内書に示される通り、一般市民へのシックハウス問題への普及啓発を目的として、シックハウス問題に関する試験を実施し、資格を認定する組織である。

提携の詳細については、現在交渉中であり、未定な部分も多いが、近日中に台湾の代表者と会談し、内容を詰める予定である。

### 台湾病態建築診断協会の概要

#### 【宗旨】

一般消費者を対象とし、シックハウス症候群について研究調査を行う。  
シックハウス診断士をはじめ、専門家の育成、資格認定制度を立てる。  
健康建築の正しい知識と情報を広め、人々の生活や住居などの「室内環境質」を高める。  
我々の任務：  
1. 建物の室内環境質を高めるのに、『設計予防』『診断改善』である知識交流の場作り  
2. 消費者権利保障の味方

#### 【特定非営利活動の種類】

環境保護のための活動  
「シックハウス診断士」資格（一級、二級）認定試験及び講習会を開催  
職力の開発／雇用機会拡の支援  
消費者保護に関する活動  
上記の活動の主催団体との連携、助言や協力

#### 【会員組成】：

「室内環境質」に関する研究分野である大学先生、学者、医者、弁護士、業界専門家とシックハウス診断士資格保持者。会員数：111人

#### 【成立にあたって】

2007年3月23日阮副理事長（当時「中华民国室内設計裝修商業同業公会 全国連合会」理事長）をはじめ、正式的に日本の「シックハウス診断士協会」と提携関係を結び、「シックハウス診断士」資格（一級、二級）認定試験とテキストを台湾に導入した（日本と台湾と両方認める資格）。同年6月、12月、2008年6月にて、「シックハウス診断士」資格（二級）試験を行った。現在、台湾国内では、資格保持者は337人。

業界だけでなく、学界との連携こそ、はじめて室内環境を改善することが実現できると社会意識が高まりつつある。業界団体（前述した公会）とは別、もっと幅広く、建築関係のみでなく、医師、弁護士まで輪にいれ、十数年同じ意識を持ち、いろいろな分野で頑張ってきた人々が集まり、ようやく今年にて成立に至った。